医療法人オーク会
医師
船曳 美也子 さん（兵庫医科大学1991年卒）
MIYAKO FUNABIKI

PROFILE

産婦人科医。兵庫医科大学病院、西宮中央市民病院、パルモア病院を経て、医療法人オーク会で不妊治療を担当。自身も不妊治療を経て44歳で出産した経験を生かして患者に寄り添う。子どもが大きくなり、最近は少しずつ趣味の美術鑑賞に時間をとれるように。著書には、「女性の人生ゲームで勝つ方法」（2013年　主婦の友社）、「あなたも知らない女のカラダー希望を叶える性の話」（2017年 講談社）がある。

先進治療と共感力で「子どもがほしい」を全力サポート

文系出身、OLから医師への転身

不妊治療の専門医として新しい命に向き合う船曳氏は、異色の経歴の持ち主だ。神戸大学文学部で心理学を学び、卒業後は就職してコンピューターのプログラミングに関わる。しかし、コンピューターとにらめっこの毎日。人と接する仕事がしたいと思い、医師をめざして25歳で兵庫医科大学へ。人と関わる仕事なら、接客や営業など他にもたくさんある。あえてハードルの高い医療職を志した理由を聞くと「母親が産婦人科医だったので、自然と医師が選択肢に入っていたんです」とサラリ。

分娩が昼夜を問わない産婦人科医が、医師の中でもハードなことは母を見てわかっていた。しかし、研修医としてさまざまな科を巡るうちに、病気を治す以上に「命を生み出す」ことに大きな魅力を感じ、自身も産婦人科医の道を選んだ。

実は船曳氏、高校時代には占いに凝り、よく友人の恋愛相談に乗っていた。それが高じて神戸大で心理学を専攻。「人と人が出会い、新しい人間関係ができ、家族や子どもを作ることに、なぜか以前からすごく興味があったんです」。OLから医師へ転身した理由も「人と関わりたいから」。彼女自身のキャリアを考えるうえで、「命」「人」は大きなキーワードなのだ。

未受精卵凍結で、女性の可能性を広げたい

産婦人科の中でも、船曳氏が不妊治療を専門にしたのは、初めに勤めた兵庫医科大学病院の医局長が不妊治療の権威で、新しい命へのアプローチに大きく惹かれたから。

現在、彼女が勤務する医療法人オーク会は、不妊に関するあらゆる治療を行っている。中でも卵子凍結は、この10年ほどで一般的になってきたが、ほとんどの病院は、受精卵と、がんを患い放射線治療が必要になった「医学的理由」のある未受精卵のみを対象としている。しかしオーク会は、「今はパートナーがいないが将来に備えたい」など“社会的理由”による未受精卵の凍結も受け入れる。船曳氏は「理由がどうであれ、積極的に妊娠を遅らせているわけではなく、子どもがほしい気持ちは同じです」と言う。

船曳氏が結婚したのは37歳。自身も不妊治療を経て、2004年に44歳で出産した。「当時は私自身も患者さんと同じで、『子どもはいつかほしいけど』と思うだけで、とくに対策をしませんでした。年齢による妊娠力低下はこんなに著しいのかと実感し、『未受精卵凍結を含めた治療を勧めなければ』と強く思いました」。

自身の経験があるために、患者さんに共感することが多いという彼女。患者さんから「先生はどうだったんですか」と聞かれることもあり、話すと相手はホッとした表情を浮かべる。「自分の経験が、治療にすごく役立っています」。

自分と相手の体を、もっと知ってほしい

不妊治療の技術が進んでいるとはいえ、妊娠は人の力が及ばない、神秘的な側面もある。子どもを本当に授かるのか、いつできるのかという予想は難しく、あくまで確率を示すことしかできない。「反対にいえば、確率が低く厳しいなと思っても、うまくいくことも珍しくないのです」。だからこそ、あきらめずに治療を続けることが大切だと船曳氏は話す。とはいえ、結果が出ない状況が続くと医師もつらい。そのときに患者のほうから「また頑張ります」と前向きな姿勢を見せられ、逆に励まされることも。そうして最終的に妊娠・出産に至ったときは、喜びもひとしおだ。

また、不妊の理由が男性側というケースもあるため、女性が自身の体を知ることはもちろん、男性の体を知ることの必要性を感じる船曳氏。「男女が、互いの性についてもっと知ること。病院に来る前の段階の人たちにも、それを広める活動をしていきたいです」。

MY HISTORY

私と医科大

大学時代は本当に友人に恵まれました。実年齢は6歳ぐらいはなれていますが、精神年齢はかわらなかったのかもしれません。授業に、実習に、試験に、クラブ活動に、と密度の濃い6年間を共に過ごした仲間は、生涯の友です。

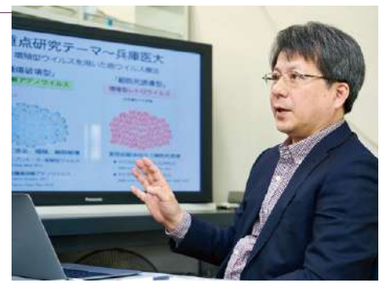
卒業式にて6年間を共に過ごした仲間と（右端：船曳先生）

HYO-i LAB
研 究 紹 介

新たな癌治療薬を作り出す ウイルスの可能性を製剤化の形へ

兵庫医科大学 先端医学研究所 医薬開発研究部門
分子遺伝治療学ユニット 准教授　久保 秀司

ノーベル生理学・医学賞によって日本でも広く知られるようになった免疫療法のように、癌治療では新たな治療法の開発が進んでいる。ウイルス療法もまた、近年、研究の進展が著しい分野で、海外では一部がすでに実用化されている。久保准教授は海外で築いた基礎研究や研究機関との連携も生かし、ウイルスの製剤化の実現とその精度の向上に力を注ぐ。



世界を視野にウイルス療法の開発

ウイルス療法とは、遺伝子を改変したウイルス（ウイルスベクター）を癌細胞に投与する治療法。遺伝子の改変により、癌細胞に特異的に感染・増殖したり、抗癌物質の産生を誘導したりすることで癌細胞を死滅につなげる。

「日本ではなじみのない治療法だが、すでに欧米ではいくつかのウイルスベクターが治療に使われている。ここ数年、さまざまな研究で成果が上がっている」と語る久保准教授。自身が率いる分子遺伝治療学ユニットでは、アデノウイルスやレトロウイルスを基盤として活用したベクターの開発と改良を研究の柱とする。久保准教授らが開発した二重制御型腫瘍溶解アデノウイルスベクターは、癌細胞に特異的に感染し増殖することで癌細胞を破壊し、次々と死滅させてゆく。昨年から、国内で悪性中皮腫に対する臨床試験が始まった。

ウイルスを活用し癌細胞の中だけで抗癌剤をつくりだす

もう一つが、久保准教授が「非常にユニークなベクター」と語るレトロウイルス。アデノウイルスと違い、ウイルス自体には細胞障害性はない。しかし癌細胞の中で密かに増殖し確実に癌全体に広がってゆく。しかも癌細胞のDNAの中にウイルス遺伝子が組込まれるため、一度感染させただけで長期にわたって癌を治療することができるようになった。

久保准教授らは、特殊な(AMLV)遺伝子を改変し、さらに癌細胞の死を誘導するため自殺遺伝子を組込んだ。これによって感染した癌細胞の中で自殺遺伝子産物（ある種の酵素）が産生される。AMLVベクターを癌に注射した後、ウイルスが癌の中で十分に広がった頃を見計らい薬物前駆体を経口投与すると、この前駆体が感染した癌細胞内の自殺遺伝子産物によって強力な抗癌剤へと転換される。「私たちが組込んだ自殺遺伝子で生じるのは、例えば5-FUという非常に強い作用を持つ抗癌剤。全身投与で用いられるこの副作用の強い抗癌剤を癌細胞内でのみ多量につくり出すことができ、しかも半減期が短いため全身の正常組織にはほとんど影響しない、癌だけを狙い撃ちする治療が可能になった」と大きな手応えを語る。

海外で実用化に近づくレトロウイルスベクター

この増殖型レトロウイルスベクターは、1998年から2006年まで久保准教授が米国の大学で研究していた際の研究者とも連携し、FDA（米国食品医薬品局）に多種類の癌に対する治療薬としての承認を申請。現在、実用化一歩手前の第3相試験までたどり着いている。

その後の研究から、AMLVベクターを投与した癌細胞の中に効果が現れない腫瘍細胞株があり、その差はウイルスの受容体の発現量と関わりがあることを発見。これを克服するために、異なる受容体を用いて癌細胞に感染するテナガザル由来のウイルス(GALV)ベクターを新たに開発した。AMLVとGALVの２種類のベクターによって、個別化ウイルス療法や重感染による併用療法が可能となり、大きな期待が寄せられている。

「治せない病気を治したい」を出発点に

久保准教授が研究の道に進む契機となったのが、研修医2年目に遺伝子疾患を持つ子どもを担当した体験だった。「調べても人に聞いても分からない、解決できない問題が目の前に現れ、初めて研究の必要性を感じた」と振り返る。1995年の日本で初の遺伝子治療の臨床試験にも参加し、「もっと改良すべき点があるはず」と考え、研究者の道へと舵を切った。

兵庫医科大学には2006年に就任。「人間への幅の広い科学的理解」等を掲げる建学の精神に特に共感する。2018年度に設置された先端医学研究所の自身の研究室には「分子遺伝治療学ユニット」と命名。「病気の治療の役に立つことを意識して研究を進めていくことを表したかった」と思いを語る。

世界で初の遺伝子治療が行われたのは1990年。近年、遺伝子工学ではさまざまな研究が進み、「色々なことが進んでいくのはこれから。何かの治療の役に立つ、その道筋を一つでも二つでも残していきたい」と力強く語る。

分子遺伝治療学ユニットでは、ウイルス療法の技術を様々な病気に応用するための研究に取り組む。癌の中でも転移性が高く余後の悪い悪性中皮腫、骨肉腫、卵巣がんなどを重点的なテーマとする。議論しながら真実を探るアプローチを重視した指導を行っている。

URAからひと言！

欧米ではウイルス療法が広く行われており、難治性の腫瘍などで有効性が示されていますが、ウイルス療法には、有効性やデリバリーなど克服すべき課題があります。久保先生は、独自のアイデアにより、有効性を高めるウイルスベクターの構築に成功するなど、課題克服に努めており、今後、研究成果が臨床への応用に繋がることが期待されます。　**【太田 英樹URAより】**

URA（University Research Administrator）とは、研究者とともに研究活動の企画やマネジメント等を担い、研究活動の活性化に寄与する職種です。現在、本法人には2名のURAが在籍しています。

◆2019 年度 学校法人 兵庫医科大学 事業計画・予算

2019年3月29日開催の理事会において、学校法人兵庫医科大学の2019年度事業計画および予算を以下のとおり決定いたしました。

■事業計画≪重点施策≫

法人

・新病院建設計画にかかる基本計画書の策定及び基本設計業務の実施
・50周年事業の検討
・事務部門における業務の効率化・最適化

兵庫医科大学

・問題解決能力の向上を目指した教育体制の充実
・Hyogo Innovative Challenge

兵庫医療大学

・学生のドロップアウト防止、進級率アップ、薬学部国家試験合格率アップに向けた学習支援の強化

兵庫医科大学病院

・病院の効率的な運営に向けた改善策の実施
・がん診療の充実

ささやま医療センター・ささやま老人保健施設・ささやま居宅サービスセンター

・地域と連携し、市民に開かれたキャンパスづくり

▼2019年度事業計画の詳細については法人ホームページからご覧いただけます

法人WEB「法人案内＞ビジョン＞主な事業とその概要」
https://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/vision/objective.html

■予算

1. 予算編成にあたって

本法人では教育研究棟の竣工に続き、2025年度の新病院棟竣工という目標実現に向け、第3次中期事業計画の推進を支え得る財務基盤の強化が重要な課題となっています。

しかしながら、2019年度においては、西宮キャンパスでの新立体駐車場の着工、病院情報システムおよび医療機器の更新、篠山キャンパスでの学生宿舎棟建設等の施設・設備投資額の増大に加え、10月からの消費税増税による経費負担増の影響もあり、十分な収支差額を確保することが厳しい状況にあります。

このような状況のもと、2019年度予算は、運営の改善及び効率化を図り、法人全体の持続的投資を可能とする適正な収支差額を確保した予算編成を行いました。

2. 事業活動収支予算の概要

事業活動収入については、医科大学における競争的資金獲得に向けた組織的取り組みの強化、大学病院における病床稼働率の向上をはじめとする効率的な運営に向けた改善策の実施、ささやま医療センターにおける診療体制・介護事業の充実及び健診事業の拡大等により、法人全体で57,610百万円（前年度予算比+1,889百万円）を計上しています。

事業活動支出については、大学病院における医療経費の抑制や医療機器保守料の適正化により経費の抑制に努めるものの、医科大学及び医療大学における受験生向けの広報活動の充実や在学生への教育支援の強化等による経費増加要因もあり、法人全体で54,907百万円(前年度予算比+384百万円)を計上しています。

その結果、2019年度基本金組入前当年度収支差額は、2,703百万円（前年度予算比+1,505百万円）を確保する予算となっています。

3. 施設・設備関係支出について

施設関係支出　(単位：百万円)

西宮キャンパス	教育研究棟関連費	5
	新病院棟関連費	150
	新立体駐車場・デッキ棟建設費	1,295
	総合研修棟跡地利用関連費	18
	施設改修費	560
篠山キャンパス	宿舎建替費	150
	施設改修費	20
神戸キャンパス	施設改修費	68
	合計	2,266

設備関係支出　(単位：百万円)

西宮キャンパス	(法人)機器備品	28
	(大学)機器備品・図書	262
	(病院)情報システム(第1期分)	1,461
	(病院)機器備品	1,142
篠山キャンパス	(篠山)院内情報システム(第3期分)	70
	(篠山)機器備品	90
	(老健)機器備品・車両	10
神戸キャンパス	機器備品・図書	32
健康医学クリニック	機器備品	2
	合計	3,097

4. 収支予算

事業活動収支予算　(単位：百万円)

収入の部				
	科目	2019年度	2018年度	増減額
	学生生徒等納付金	7,550	7,606	▲ 56
	手数料	257	270	▲ 13
	寄付金	1,808	1,811	▲ 3
	経常費等補助金	2,275	2,339	▲ 64
	事業収入	44,943	42,736	2,207
	雑収入	580	751	▲ 171
教育活動収入計		57,413	55,513	1,900
	受取利息・配当金	80	94	▲ 14
教育活動外収入計		80	94	▲ 14
	その他の特別収入	117	114	3
特別収入計		117	114	3
事業活動収入計		57,610	55,721	1,889
支出の部				
	科目	2019年度	2018年度	増減額
	人件費	23,144	23,432	▲ 288
	教育研究経費	3,814	4,591	▲ 777
	医療経費	21,798	19,706	2,092
	管理経費	1,491	1,484	7
	減価償却額	4,303	4,111	192
	徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計		54,550	53,324	1,226
	借入金等利息	41	42	▲ 1
教育活動外支出計		41	42	▲ 1
	資産処分差額	116	957	▲ 841
特別支出計		116	957	▲ 841
予備費		200	200	0
事業活動支出計		54,907	54,523	384
基本金組入前当年度収支差額		2,703	1,198	1,505

資金収支予算　(単位：百万円)

収入の部				
	科目	2019年度	2018年度	増減額
	学生納付金収入	7,550	7,606	▲ 56
	手数料収入	257	270	▲ 13
	寄付金収入	779	802	▲ 23
	補助金収入	2,341	2,408	▲ 67
	資産売却収入	0	1,500	▲ 1,500
	事業収入	44,943	42,736	2,207
	受取利息・配当金	80	94	▲ 14
	雑収入	580	751	▲ 171
	借入金等収入	128	109	19
資金収入計		56,658	56,276	382
支出の部				
	科目	2019年度	2018年度	増減額
	人件費支出	23,016	23,244	▲ 228
	教育研究経費支出	3,814	4,591	▲ 777
	医療経費支出	21,798	19,706	2,092
	管理経費支出	1,491	1,484	7
	借入金等利息支出	41	42	▲ 1
	借入金等返済支出	1,003	1,131	▲ 128
	施設関係支出	2,266	1,329	937
	設備関係支出	3,097	2,229	868
	資産運用支出	500	1,700	▲ 1,200
	予備費	200	200	0
資金支出計		57,226	55,656	1,570
資金収支差額		▲ 568	620	▲ 1,188

注)2018年度予算は補正予算を掲載しています。

人事情報

兵庫医科大学 2019年度 副学長の業務所掌

○鈴木 敬一郎（学部教育・内部質保証担当）
○西口 修平（臨床研究・研究倫理担当）
○三輪 洋人（組織改革・国際交流・広報担当）
○池内 浩基（大学院・産官学連携担当）
○阪上 雅史（診療・病院組織担当）

兵庫医療大学 2019年度 副学長の業務所掌

○西山 信好（教育・内部質保証担当）
○前田 初男（研究・社学・産学連携担当）
○山﨑 せつ子（総務・入試・広報担当）

兵庫医科大学病院 2019年度 副院長の業務所掌

○芳川 浩男（地域連携・教育研究体制・新専門医制度担当）
○三輪 洋人（内科部門長・診療体制・広報担当）
○西 信一（新病院棟建設・急性医療総合センター・情報システム・医療安全・危機管理担当）
○長谷川 誠紀（外科部門長担当）
○丸山 美津子（療養環境・患者サービス・病床管理担当）

兵庫医科大学ささやま医療センター 2019年度 副院長の業務所掌

○田中 宏幸（医療安全担当）
○山田 明美（療養環境・患者サービス担当）

理事の異動 次のとおり理事の異動がありました

新任（4月1日）	兵庫医療大学 学長	藤岡 宏幸	退任（3月31日）	兵庫医療大学 学長	馬場 明道
			辞任（3月31日）	兵庫医科大学病院 病院長・兵庫医科大学 副学長	難波 光義
新任（4月1日）	兵庫医科大学 教授・兵庫医科大学病院 副院長	西 信一	辞任（3月31日）	兵庫医科大学 教授・副学長	西口 修平
新任（4月1日）	ささやま医療センター 病院長	片山 覚			
新任（4月1日）	兵庫医科大学 後援会 会長・清水クリニック 院長	清水 聡一郎	退任（3月31日）	細見医院 院長	細見 基信
新任（4月1日）	宝塚市立病院　総長	難波 光義			
新任（4月1日）	常勤理事	松村 昭夫	辞任（3月31日）	常勤理事	森田 泰夫
新任（4月1日）	東日本税理士法人　税理士	夏苅 千晶			

監事の異動 次のとおり監事の異動がありました

新任（4月1日）	常勤監事	森田 泰夫

評議員の異動 次のとおり評議員の異動がありました

新任（4月1日）	兵庫医療大学 学長	藤岡 宏幸	退任（3月31日）	兵庫医療大学 学長	馬場 明道
			辞任（3月31日）	兵庫医科大学病院 病院長・兵庫医科大学 副学長	難波 光義
新任（4月1日）	事務局長	佐々木 周一	退任（3月31日）	事務局長	多田 宏幸
			退任（3月31日）	兵庫医療大学 教授・副学長	藤岡 宏幸
新任（4月1日）	兵庫医科大学病院 看護部長・副院長	丸山 美津子			
新任（4月1日）	健康医学クリニック 院長	大柳 光正			
新任（4月1日）	兵庫医科大学教授・副学長	池内 浩基			
新任（4月1日）	兵庫医科大学 後援会 会長・清水クリニック 院長	清水 聡一郎	辞任（3月31日）	細見医院 院長	細見 基信
新任（4月1日）	宝塚市立病院 総長	難波 光義			
新任（4月1日）	常勤理事	松村 昭夫	辞任（3月31日）	常勤理事	森田 泰夫
新任（4月1日）	東日本税理士法人 税理士	夏苅 千晶			
			辞任（3月31日）	兵庫医科大学 後援会 会長・清水クリニック 院長	清水聡一郎

主任教授・教授、および役職者の就任挨拶をご紹介します。

兵庫医科大学
炎症性腸疾患学 外科部門
主任教授

池内 浩基 副学長

（大学院・産官学連携担当）
（2019年4月1日就任）

この度、副学長を拝命しました。私は本学の10期生になります。これから主に大学院担当の仕事をさせていただきます。一人でも多くの大学院生が4年間で学位取得ができるように努力していきたいと思っています。今後ともご指導、ご協力のほどよろしくお願いします。

兵庫医科大学
内科学
循環器内科

朝倉 正紀 教授

（2019年2月1日就任）

私は1993年に大阪大学を卒業し、大阪警察病院・大阪大学で血管内視鏡や心筋肥大に関する研究を行いました。学位取得後はベイラー医科大学に留学後、国立循環器病研究センターにて臨床および臨床研究に携わってきました。本学においても、地域に密着した診療・教育・研究を進めて参ります。

兵庫医科大学
内科学
腎・透析科

倉賀野 隆裕 教授

（2019年3月1日就任）

この度、兵庫医科大学 内科学 腎・透析科 教授を拝命しました。私は1991年に日本大学医学部を卒業し、2005年から本学で勤務しています。現在は、慢性腎臓病における鉄調節障害に関した研究活動を精力的に行っています。これからも質の高い教育・医療・研究の実践に努める所存です。

兵庫医科大学
免疫学

黒田 悦史 主任教授

（2019年4月1日就任）

私は九州工業大学、広島大学を経て2001年に産業医科大学にて学位を取得いたしました。その後ブリティッシュコロンビアがん研究所（カナダ）、大阪大学、医薬基盤・健康・栄養研究所にて免疫学の基礎研究に従事してきました。本学では、教育活動はもちろんのこと、これまで行ってきたアレルギーの基礎研究を大きく発展させたいと考えております。

兵庫医科大学
小児科学

奥田 真珠美 教授

（2019年4月1日就任）

1987年に和歌山県立医大を卒業、小児科医として勤務をする中でピロリ菌と出会い、研究を始めました。ピロリ菌は多くの胃癌の原因となるため、胃癌ゼロを目指した対策に取り組んでいます。臨床面では小児消化器病を専門とし、増加する機能性消化管疾患診療を中心に取り組む所存です。

兵庫医科大学
放射線医学

石藏 礼一 教授

（2019年4月1日就任）

私は1982年に兵庫医科大学を卒業し同放射線医学教室に入局、国内留学、海外留学を通じ中枢神経画像診断研究を中心に小児画像診断、頭頸部癌のIVRに携わって来ました。今後も同窓生の一人として、後輩の育成に力を注いで行く所存です。

兵庫医療大学
リハビリテーション学部 教授

山﨑 せつ子 副学長

（総務・入試・広報担当）
（2019年4月1日就任）

この度、兵庫医療大学副学長（総務・入試・広報担当）を拝命いたしました。18歳人口が確実に減少する中、受験生確保や、そのための受験生、保護者、高等学校教諭に向けての広報は、最重要課題です。藤岡学長のご指導、および皆様のご協力の下、精一杯努力してまいります。よろしくお願いいたします。

兵庫医療大学
看護学部 教授

土田 敏恵
看護学部長

（2019年4月1日就任）

この度、看護学部長を拝命いたしました。社会からの期待に応えるべく看護職者の役割が益々拡大する中、看護学部では学生が将来看護職者として活躍するだけでなく、さらなるキャリアアップができる人材を育成しています。学生も教員も活気あふれる学部となるよう全力を尽くす所存です。

兵庫医療大学
リハビリテーション学部 教授

川口 浩太郎
リハビリテーション学部長

（2019年4月1日就任）

4月よりリハビリテーション学部長を拝命しました。大学設置準備室からリハビリテーション学部に関わらせていただいておりますが、設置当初から掲げている「臨床の場で活躍できる理学療法士・作業療法士の育成」に尽力していきたいと思っております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

兵庫医療大学
薬学部

田端 千春 教授

（2019年4月1日就任）

私は1992年に京都大学医学部を卒業し、田附興風会医学研究所北野病院呼吸器内科を経て、京都大学で間質性肺炎の研究で学位を取得後は、兵庫医科大学で呼吸器内科診療と基礎および臨床研究を行ってきました。教育・研究に精進する所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

兵庫医科大学
地域総合医療学 教授

田中 宏幸
兵庫医科大学ささやま医療センター 副院長

（医療安全担当）（2019年4月1日就任）

この度、副院長を拝命いたしました。これまで西宮で周産期医療を中心に携わってまいりました。篠山という地域に根ざした医療現場での勤務となり、戸惑いもございますが、副院長として片山病院長とともに西宮・篠山の職員のさらなる連携強化と組織発展を目指して頑張る所存です。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

▶詳しい人事情報は、学校法人兵庫医科大学ホームページをご覧ください。 https://www.corp.hyo-med.ac.jp

法人からのお知らせ

◇学校法人兵庫医科大学基金 兵医・萌えの会 状況報告

みなさまからのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

2009年7月1日～2019年3月31日

区分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
申込	370	79,505,000円	2,441	164,545,498円	2,811	244,050,498円
入金	369	79,455,000円	2,435	164,335,498円	2,804	243,790,498円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧(50音順)

2018年12月1日～2019年3月31日

企業等法人 (9法人)

●ご芳名・金額記載 (2法人)

鹿島建設株式会社関西支店 様　50,000円
株式会社白洋舎 様　300,000円

●ご芳名のみ (4法人)

株式会社共英メソナ 様
ベガファーマ株式会社くるみ薬局 様
武庫川医療サービス株式会社 様
八洲薬品株式会社 様
(匿名3法人)

役員・教職員等 (2名)

●ご芳名のみ　(1名)

山田 明美 様
(匿名1名)

緑樹会・後援会・その他個人 (155名)

●ご芳名・金額記載 (24名)

大西 嘉子 様	10,000円	谷 由佳 様	10,000円
岡田 和隆 様	50,000円	土井 進 様	5,000円
岡谷 文子 様	10,000円	利倉 久子 様	500,000円
岡谷 幸一 様	10,000円	林 俊彦 様	50,000円
岡本 弘子 様	50,000円	林 瑠璃子 様	10,000円
金田 敬三 様	50,000円	檜垣 一恵 様	10,000円
木山 寛 様	5,000円	福井 健郎 様	50,000円
兒玉 善子 様	10,000円	藤原 和雄 様	50,000円
兒玉 喜徳 様	50,000円	松田 昂大 様	50,000円
近藤 千尋 様	50,000円	水野 叡子 様	50,000円
柴田 マリ子 様	50,000円	宮永 とし子 様	50,000円
武田 三代子 様	50,000円	山地 宣子 様	10,000円

●ご芳名のみ (44名)

池元 美幸 様	小松 輝雄 様	玉木 琴子 様	松本 ふくゑ 様
猪崎 俊一 様	清水 茂 様	土橋 昌子 様	丸岡 正行 様
井村 敏彦 様	杉本 茂樹 様	土橋 芳邦 様	三上 展弘 様
宇田 壽光 様	宗 武徳 様	中澤 正孝 様	山本 悦也 様
大村 清 様	大黒 幸子 様	成山 肇 様	山本 純子 様
岡本 茂登 様	大黒 貴 様	西田 正樹 様	山本 洋子 様
岡本 洋子 様	髙尾 和良 様	萩森 シャンタル 様	湯川 正義 様
木村 千賀子 様	髙尾 素子 様	福田 仁那 様	湯川 慶子 様
熊谷 裕美 様	竹ノ上 勲 様	福田 晴美 様	
熊谷 政敏 様	竹ノ上 春野 様	松葉 一惠 様	
香山 洋子 様	谷崎 千加代 様	松葉 多喜夫 様	
小西 千鶴 様	溪村 惠司 様	松本 圭子 様	(匿名87名)

詳しい活動報告に関しましては、学校法人兵庫医科大学 (兵医・萌えの会) のホームページをご覧ください。https://ssl.hyo-med.org/

◇主な行事予定(5月～7月)

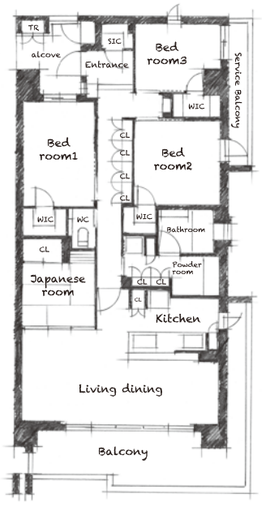
5月		
18日	兵庫医科大学	篤志解剖体納骨式
	兵庫医科大学病院	地域医療懇談会
	兵庫医科大学	薬物乱用防止に係る特別講義 (1年次・他学年次も聴講可)
日付未定	兵庫医療大学	仕事研究セミナー(看護学部)
日付未定	兵庫医療大学	大学行事実行委員会スポーツ大会
6月		
1日	兵庫医科大学	後援会総会
		心肺蘇生法実習
8・9日	兵庫医療大学	リーダーズキャンプ
9日	兵庫医療大学	オープンキャンパス(3学部)
		薬学研究科・看護学研究科オープンキャンパス
11日	兵庫医療大学	兵庫医療大学×北京中医薬大学合同シンポジウム「東西医学の融合」
14日	ささやま医療センター	紀洋会と篠山キャンパスの合同ハラスメント講習会
20日 (予定)	兵庫医療大学	高校教員対象入試説明会
22日	学校法人兵庫医科大学	幹部教員FD
7月		
1～5日	兵庫医科大学	早期臨床体験実習Ⅰ (1年次)
19日	兵庫医科大学	トリアージ訓練 (4年次)
20日	兵庫医療大学	兵庫医療大学 薬学部×兵庫医科大学病院 薬剤部 合同イベント「薬剤師への道」
20・21日	兵庫医科大学	医学教育ミニ・ワークショップ

プレージア逆瀬川宝梅
ザ・レジデンス

洗練されたモダンデザインの家具で彩られた
お部屋をご覧いただけます。

Furniture : カッシーナ・イクスシー

棟内モデルルーム公開中! 即入居可



モダンインテリアのトップブランド
“カッシーナ・イクスシー”の家具で、
本物の価値を知るご家族の
優雅な生活スタイルを表現した
棟内モデルルームが完成致しました。
ぜひ一度、その日でお確かめください。

G TYPE | 4LDK

□住居専有面積／105.00㎡
※トランクルーム面積含む
□バルコニー面積／18.40㎡
□サービスバルコニー面積／ 7.03㎡
□アルコーブ面積／ 6.24㎡

「プレージア逆瀬川宝梅 ザ・レジデンス」現地ご案内図

現地販売センターにはご来場者様用の駐車場をご用意しております。
お気軽にお越しください。
カーナビをご利用の場合は「宝塚市宝梅1丁目8番」とご入力ください。

お問い合わせは「プレージア逆瀬川宝梅 ザ・レジデンス」現地販売センター
0120-765-020
営業時間／10:00～18:00　定休日／水・木曜日(祝日除く)※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

こちらより物件ホームページへお入りください。
以下のパスワードにてGタイプ限定コンテンツをご覧いただけます。
〈限定サイト パスワード〉 hobai20

事業主(売主)　阪急阪神東宝グループ OS株式会社
販売提携(代理)　OS不動産

学校法人 兵庫医科大学

建学の精神
- 社会の福祉への奉仕
- 人間への深い愛
- 人間への幅の広い科学的理解

西宮キャンパス

兵庫医科大学
兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
☎0798-45-6111（代）
https://www.hyo-med.ac.jp/（大学）
https://www.hosp.hyo-med.ac.jp/（病院）
https://www.corp.hyo-med.ac.jp/（法人）

兵庫医科大学
健康医学クリニック

〒663-8137 兵庫県西宮市池開町3番24号
☎0120-682-701
https://www.hyo-med-kenshin.com/

神戸キャンパス

兵庫医療大学

〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6
☎078-304-3000（代）
https://www.huhs.ac.jp/

篠山キャンパス

兵庫医科大学
ささやま医療センター

〒669-2321 兵庫県篠山市黒岡5番地
☎079-552-1181（代）
https://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/

兵庫医科大学
ささやま老人保健施設

兵庫医科大学
ささやま居宅サービスセンター

〒669-2321 兵庫県篠山市黒岡36番地
☎079-552-6840（代）
https://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/

＜広報誌の送付先変更や配送停止に関するお問合せ＞

【兵庫医科大学 卒業生（緑樹会会員）の方】
兵庫医科大学 同窓会緑樹会
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
兵庫医科大学 教育研究棟3階
☎0798-45-6448（平日13:00～17:00）

【兵庫医療大学 卒業生の方】
兵庫医療大学 キャリアデザインセンター
〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6
兵庫医療大学 キャリアデザインセンター
☎078-304-3100（平日8:30～17:00）

学校法人 兵庫医科大学 広報誌
兵医広報 vol.246（2019 SPRING）
発行日／2019年4月25日
発行元／学校法人兵庫医科大学 総務部 広報課